

行政報告

平成17年9月定例議会は、9月12日から27日までの会期で開かれました。議会初日と13日には、行政報告、議案説明及び大綱質疑が行われ、14日、15日、16日の3日間にわたって一般質問が実施されました。20日からは各常任委員会で付託議案等を審議し、27日に閉会しました。

今号と次号の2回にわたって、9月定例議会の行政報告と補正予算の概要についてお知らせします。

総務部関係

【総務課】

8月29日、第41回「県の記念日」記念式典が県正庁において開催され、席上当市議会議員の梅邑長之助氏並びに吉岡興氏へ、旧町議会議員時代からの永年にわたる地方自治の発展、地域振興への貢献に対し寺田知事から地方自治功労賞が授与されました。

企画部関係

【総合政策課】

「秋田内陸線再生支援協議会」が7月26日に設立され、この協議会を母体に、秋田内陸縦貫鉄道株式会社とともに「内陸線再生計画」を策定することが決定しました。この計画は、今後の施設整備に係る国庫補助を受けるための前提条件となるもので、本年10月末までに国に提出する予定です。

【管財課】

合併で不用となった旧町長車3台について、一般公募による入札会を開催し、総額332万4450円で売却しました。また、アスベスト使用と思われる行政施設は1施設あり現在分析中です。現対応として、当該箇所を封鎖し危険のないよう措置しています。

【財政課】

秋田県国際交流協会が招致し、北秋田市日口友好協会が受け入れたロシア・ハバロフスク市青少年団一行18名が8月3日～5日北秋田市を訪れ、鷹巣中学校、合川中学校の生徒との交流など、幅広い国際交流が行われました。

6月から8月31日まで市の工事発注等に伴う主な契約状況

況は、500万円以上が50件で、1億5712万9千円となっています。

【広報情報課】

10月1日を調査日とする全国一斉の「国勢調査」に対し、市では、助役を本部長とする

市民生活部関係

【生活環境課】

8月14日の集中豪雨により、林道5路線計8箇所の路肩崩壊等が発生し、2350万円(概算)の被害を受けました。また、阿仁前田地区においては、民家裏の法面崩壊が2箇所、床下浸水5棟の被害となつています。

9月4日、秋田県消防協会

大館北秋田支部防災訓練が鷹巣駅前通り、銀座通り、文化会館駐車場を主会場に、486人の参加で行われています。予・警報の伝達、交通規制、避難や炊き出し訓練など地域住民と防災関係機関が一体となった総合訓練は有事に備えるの有益な体験であることから、今後も定期的に実施したいと考えております。

旧阿仁町一般廃棄物最終処分場のダイオキシン類の水質検査が行われ、環境基準値を大幅に下回る良好な検査結果となりました。旧鷹巣町一般

調査実施本部を設置し、その準備作業を進めております。この調査には、315人の市民の方へ指導員と調査員を依頼しており、市内1万5千世帯の調査が開始されます。

【医療推進課】

市民病院建設については、建設予定地を北欧の杜公園内の県有地に絞り込み、関係機関との協議、諸手続等用地取得に向け鋭意作業を進めております。6月に発注した基本構想は成果品が納入となり、今後この構想に基づき、新病院建設に対する方針を明らかにして参ります。

【阿仁病院】

平成16年度の決算状況は、入院では入院基本料基準の見直しによる増益、外来では患者減による大きな減収となり、単年度で489万7千6百円の純損失となりました。総収益では前年度比182万7千円の減収、総費用では454万3千3百円の減額、うち人件費では285万5千2百円節減する結果となりました。

市民生活部関係

た。これまで病院運営協議会を二度開催し、阿仁病院の現状並びに今後の病院運営等について協議した結果、不採算地区病院でへき地医療を確保していくため、更なる不採算部門の再検討や公的病院との物品等の共同購入化を促進して行くことを確認しました。

【国保合川診療所】

今年4月から7月までの外来患者数は、前年同期対比で9・9%（482人）の増加で、診療報酬についても4月から5月までの対比で10・2%（279万7千円）の増加です。また平成16年度決算については、収入済額が490万1千円、支出済額1億6370万6千円、差引額は1億1463万5千円の赤字となりました。

【保険課】

平成17年度国民健康保険税の一人当たりの課税状況は退職分を含め、地区別に鷹巣6万1645円、合川5万9798円、森吉7万1884円、阿仁5万4676円です。低所得者の負担の軽減を図るため、その所得が国の定める一定の基準以下の世帯に対して条例の定めるところによ

り軽減が図られています。県の「子育て支援対策事業」制度の改正により、市の福祉医療に係る助成制度も一部変わりました。8月1日に新しい受給者証の交付が行われ、対象者は3740人となっています。

【保健センター】

4月から始まった成人検診事業については、合川、森吉、阿仁、鷹巣の4地区において、医療機関個別方式、市民ドック方式を除き8月末で終了しました。

また、鷹巣地区の乳がん検診は、10月に実施予定となっています。

集団検診方式の8月26日までの受診状況は、基本健康診査3463人、胃がん検診2077人、胸部総合検診4207人、骨粗しょう症検診240人、喀痰検査104人、子宮頸部・卵巣がん検診391人、大腸がん検診3534人、乳がん検診173人、前立腺がん検診1115人、肝炎ウイルス検診471人となっています。

献血実施状況は、8月末現在で全血献血359人、成分献血67人となっています。

福祉事務所関係

【高齢者支援課】

北秋田市第3期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、広く地域住民の意見や要望等を反映し、併せて基本となるべき事項を協議するため、計画策定委員会（委員15人）を設置し、8月25日に第1回委員会を開催しています。

委員会は医療、保険、福祉の各分野の知識経験者と被保険者、サービス利用者の代表で構成されており、明年1月の計画策定に向け協議が重ねられることとなります。平成18年度から施行される改正介護保険法では、新たな介護予防サービスの創設などが盛り込まれているため、この動向も踏まえて介護サービスに対する市民要望を調査し、介護保険料の調整に資するため、1000人程度の抽出アンケート調査を予定しています。

介護保険制度の見直しに伴い、10月1日から介護保険施設などの利用料が変わります。高齢化の進展により介護サービスの費用が増大する中で、保険料の上昇をできる限り抑えるためには、介護保険から給付される費用を効率化・重

点化していくことが必要となつており、また、同じ要介護状態であれば、在宅者と施設利用者について給付と負担は公平であることが求められます。こうした趣旨を踏まえ、10月利用分から所得の低い方の負担に配慮しつつ、介護保険施設などにおいて利用者に負担いただく費用に関する見直しが行われるものです。

北秋田市家族介護慰労金は、7月の審査会を経て202人が支給対象者として認定されています。

新市の敬老式は、75歳以上6960人、ダイヤモンド婚金婚の方々を対象に、9月6日の合川会場からスタートし、10月1日の森吉会場まで11会場で開催する予定です。

【福祉課】

（児童福祉）

秋田県と各市町村が2分の1負担として実施している「すこやか子育て支援事業」が、本年8月1日から制度の大幅な改正がありました。新制度では、全ての子育て家庭への支援を基本理念とし、応能・応益負担の原則に基づき、一定の所得制限や自己負担を導入しながら支援対象を大幅